

ワークセンサー感度調整手順

AUTOMATIC LABELING SYSTEM

LA-5 シリーズ



警告

本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防ぐためにも、日常のお手入れが必要です。作業終了後は、毎日清掃して常に清潔に保つようにしてください。

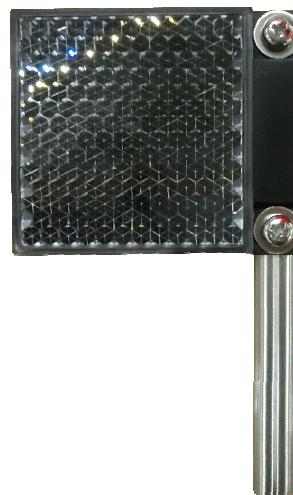
ワークセンサー

ワークセンサー型番
CX-481 標準タイプ
CX-482 長距離タイプ



反射ミラー

反射ミラー型番
RF-230



本手順書は、本機に以下の症状が見られる際にご参照ください。

- 商品にラベルが貼り付けられない
- 一つの商品に複数のラベルが貼り付けられる
- ワークセンサーを遮光しても動作表示灯(赤ランプ)が点灯、もしくは消灯状態のままである



警告

- 調整および確認を行う前に、操作パネルを停止中に切り替え、さらにコンベヤーの電源スイッチを切ってください。
ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。
- 印字部周辺、駆動部周辺は高温になっている場合がありますので注意してください。
火傷の原因となることがあります。

< 調整前の確認と処置 >

以下を確認しワークセンサーの動作不良が解消する場合、ワークセンサーを調整する必要はありません。

- ワークセンサーの投光部、または反射ミラーにゴミや汚れが付着していないか、確認してください。汚れがあるまたは付着物がある場合、拭き取り清掃を行ってください。
- ワークセンサーからの投光が反射ミラーに到達する位置関係であることを確認してください。正しい位置関係ではない(ワークセンサーと反射ミラーが平行ではない)場合、ワークセンサーをコンベヤーに対して平行に固定しなおし、ワークセンサーの投光が反射ミラーに対して垂直になるよう、ワークセンサーの角度を調整します。
- ワークセンサーの正常な挙動は、対象物がある場合は**橙と緑**点灯、ない場合は**緑のみ**点灯となります。

ワークセンサーの感度を調整する



警告

- ワークセンサーの感度調整を行う前に、ラベラーの電源が入っていることを確認してください。また、ラベラーの運転状態が【停止中】であることを確認してください。【停止中】でない場合、【運転中】キーを押して【停止中】に切り替えてください。

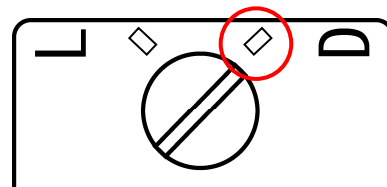
■ 作業開始前にご準備頂くもの

- マイナスドライバー(精密)



【D-ON】の場合(標準) 動作切替スイッチの向き:

(商品の前の部分を検知します)



1 ラベラーを停止状態にします。

- 運転中の場合は、操作パネルの「運転中」キーを押して停止状態にしてください。
- コンベヤーの電源スイッチが切れていることを確認してください。

2 動作切替スイッチが「D」側に設定されていることを確認します。

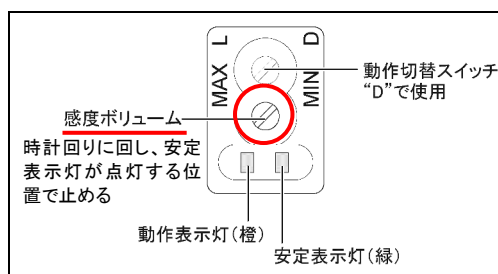
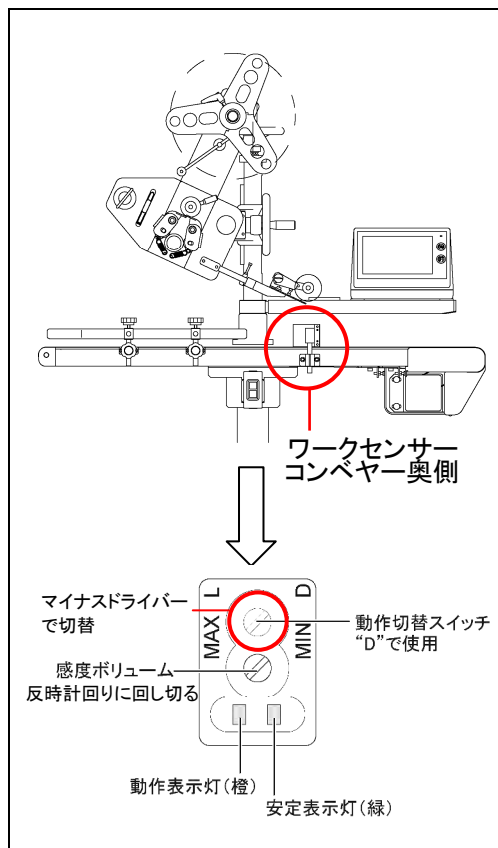
- 切替を行う際はマイナスドライバー(精密)を使用してください。
- 回しすぎにご注意ください。L から D までおよそ 1/4 回転が適当です。

3 商品がない状態で、ワークセンサーの感度ボリュームを止まるまで反時計回りに回し切り最小位置に合わせます。

- 動作表示灯(橙)と安定表示灯(緑)が点灯します。
- 回しすぎにご注意ください。最小から最大までおよそ 3/4 回転が適当です。

4 感度ボリュームを時計回りにゆっくりと回すと、両方の表示灯が消灯します。さらに時計回りにゆっくりと回し、安定表示灯(緑)が点灯する位置で止めます。

- 調整完了です。



5 商品を使ってワークセンサーの動作を確認します。

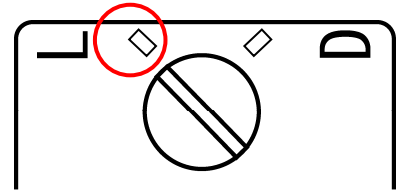
■ワークセンサーの正常動作

- 商品がない状態では、動作表示灯(橙)は消灯しています。
- 商品を検知すると、動作表示灯(橙)が点灯し、ラベルを貼付します。
- 安定表示灯(緑)は点灯したままです。
- 透明容器の商品等で商品がワークセンサーを通過中に動作表示灯(橙)が消灯する場合、消灯する透明の部分で再度感度調整を行ってください。

【L-ON】の場合

(商品の後ろの部分を検知します)

動作切替スイッチの向き:



1 停止状態にします。

- 運転中の場合は、**運転中**キーを押して停止状態にしてください。
- コンベヤーの電源スイッチが切れていることを確認してください。

2 動作切替スイッチを”L”にします。

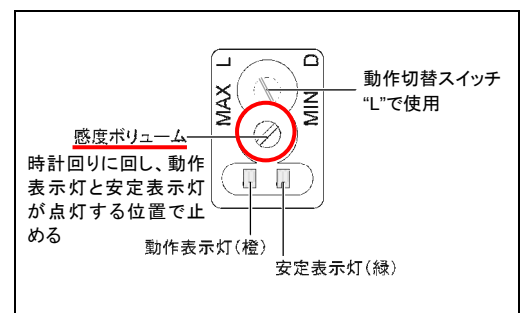
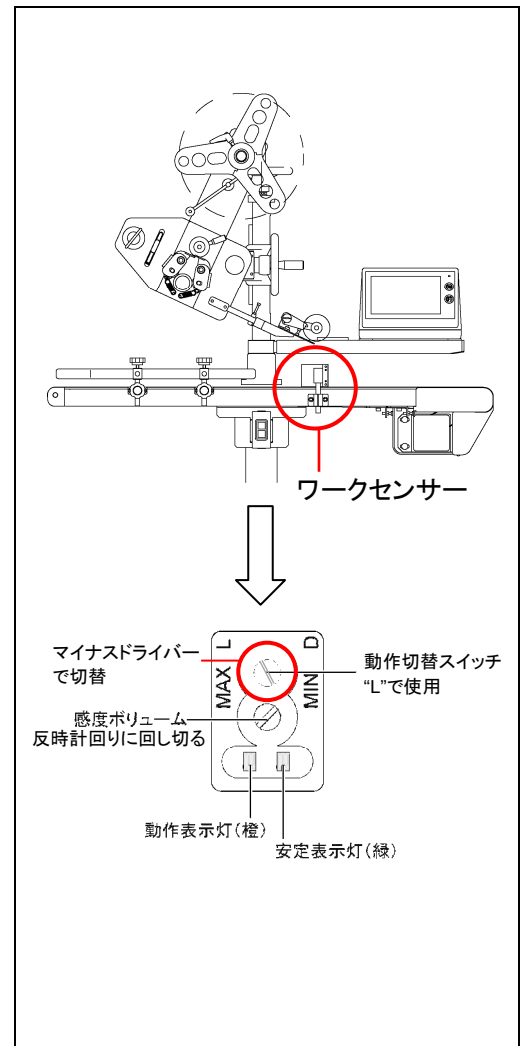
- 切替を行う際はマイナスドライバー(精密)を使用してください。
- 回しすぎにご注意ください。L から D までおよそ 1/4 回転が適当です。

3 商品がない状態で、ワークセンサーの感度ボリュームを止まるまで反時計回りに回し切り最小位置に合わせます。

- 安定表示灯(緑)が点灯します。
- 回しすぎにご注意ください。最小から最大までおよそ 3/4 回転が適当です。

4 感度ボリュームを時計回りにゆっくりと回すと、両方の表示灯が消灯します。さらに時計回りにゆっくりと回し、動作表示灯(橙)と安定表示灯(緑)が点灯する位置で止めます。

- 調整完了です。



5 商品を使ってワークセンサーの動作を確認します。

■ワークセンサーの正常動作

- 商品がない状態では、動作表示灯(橙)は点灯しています。
- 商品を検知すると、動作表示灯(橙)が消灯します。
- 商品が抜けると、動作表示灯(橙)が点灯してラベル貼付をします。
- 安定表示灯(緑)は点灯したままです。
- 透明容器の商品等で商品がワークセンサーを通過中に動作表示灯(橙)が点灯する場合、点灯する透明の部分で再度感度調整を行ってください。